

おはようございます。日曜日の朝の第二礼拝へようこそ。日曜日には二つの礼拝があります。最初の礼拝は、「聖書預言・アップデート」です。第二礼拝は、聖書全体を通して節毎の「聖書の学び」です。今日は、「テトスへの手紙」です。先週、第1章を終えました。第2章から始め、御言葉箇所は1節から10節です。ここにおられる方は、その聖書箇所をお開き下さい。可能な方はお立ち下さい。私が読みますので、ついてきて下さい。ご無理な方は、座ったままで結構です。1節から、使徒パウロは聖霊によりテトスに手紙を書いています。

テトスへの手紙 2章

「しかし、あなたは健全な教えにふさわしいことを語りなさい。」—1節—

「年配の男の人には、自分を制し、品位を保ち、慎み深く、信仰と愛と忍耐において健全であるように。」—2節—

「同じように、年配の女の人には、神に仕えている者にふさわしくふるまい、人を中傷せず、大酒のとりこにならず、良いことを教える者であるように。」—3節—

「そうすれば、彼女たちは若い女の人に、夫を愛し、子どもを愛し、」—4節—

「慎み深く、貞潔で、家事に励み、善良で、自分の夫に従順であるように諭すことができます。神のことが悪く言われることのないようにするためです。」—5節—

「同じように、若い人には、あらゆる点で思慮深くあるように勧めなさい。」—6節—

「また、あなた自身、良いわざの模範となりなさい。人を教えることにおいて偽りがなく、品位を保ち、」—7節—

「非難する余地がない健全なことばを用いなさい。そうすれば、敵対する者も、私たちについて何も悪いことが言えずに、恥じ入ることになるでしょう。」—8節—

「奴隷には、あらゆる点で自分の主人に従って、喜ばれる者となるようにし、口答えせず、」—9節—

「盗んだりせず、いつも善良で信頼できることを示すように勧めなさい。それは、彼らがあらゆる点で、私たちの救い主である神の教えを飾るようになるためです。」—10節—

ご一緒に祈りしましょう。私たちの御言葉の理解に、神が祝福くださるようお願いしましょう。主よ、あなただけが御出来になる方法で、今、私たちの心を鎮め、殊に私たちの前にある御言葉に集中することが出来るようお助け下さい。今日、あなたから私たちへの御言葉があられるのを知っています。主よ、私たちは、御霊があなたの教会に語られることを聞きたいのです。主よ、私たちの注意を保ち、思考が彷徨うことのないよう、留めてください。私たちのために今日与えられる何をも見逃したくないからです。あなたに私たち自身を委ねます。イエス様の御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございました。今日は、神に喜ばれ、なおかつ重要にも人として魅力的な信仰生活を送る方法と理由の両方についてお話したいと思います。“言行一致” という言葉を聞いたことがあると思います。あるいは、“行動は言葉よりも雄弁”。あるいは、私がよく耳にするのは、“人に説くことは自分でも実行せよ＝先ず隗より始めよ”なぜこのようなことわざがあるのか、ご存知ですか？人生のあらゆる領域で、“何を教わったか”よりも、“何を得たか”の方が重要だからです。今日の御言葉の、使徒パウロがテトスに宛てた手紙の中で、どのようにして、また何故、健全な教義にふさわしいことを教えなければならないのかを説明しています。「健全な教義を教えなさい」とは、言っていないことに注

意してください。それは当然のことで、そうとは言わず、「健全な教義に資するような、適切で適用可能なことを教えなさい」と言っています。言い換えれば、あなたの人生、生き方を、あなたの教義と一致させなければならない、という意味です。つまり「テトスよ、あなたが教えるときは、あなたの生き方に合った健全な教義にふさわしい、言わば適切な方法で、教えなさい。」パウロは、年配の男性と年配の女性、そして若い男性と若い女性に関連して、非常に詳細に説明していることに注目すべきです。あなたがどの分類に属するかは、ご自身の判断にお任せします。－(笑)－

特に女性には、年配者の話はとても敏感な話題で、「誰が年寄りですって？」となります。いや、それは... ちょっと、ここは年齢制限がありません。自分のことは、良くお分かりですよ？ しかしパウロはさらに、私たちがよく知るところの従業員とその雇用者との関係についても言及しています。ここからは、老若男女を問わず、すべての人の役割と責任について、パウロが詳しく説明しています。さてこの話に入る前に、もう一度言っておきます。先週もお話ししましたが、今日もまた、ただ読むだけで先に進んでしまいがちな別の箇所があります。つまり、このような箇所に関しては、自分自身に正直になりましょう。パウロがテトスに書いたリストは、長老の資格に関して書いた、以前のリストに似ていて、それはまた、パウロがテモテに書いたリストにも似ています。ですから、私たちは「テモテへの手紙」と「テトスへの手紙」を、親しみを込めて牧会書簡と呼ぶのです。「まあ、これが牧会者への手紙なら、私は、ここにいる必要はないのでは、牧師さん？ これは、あなたのためのものですね。」惜しい！ そう慌てずに... この章は、老若男女を問わず、すべての人に向けて語られています。これらのカテゴリーに当てはまらない方は、手を挙げていただけますか？ いませんよね、わかってましたが、少し嫌みでしたが、要点はわかってもらえたかと思います。では、取りかかりましょう。準備はいいですか？

1節と2節で、パウロは、年配者から始めます。テトスに、健全な教義にふさわしく、良き敬虔な模範となれるように、どのように指導すればよいかを教えています。具体的には、ここにリストがあります。

「自分を制し、品位を保ち（尊敬に値し）...」と言っています。つまり、尊敬を獲得しなければならないのです。「自制心があり（慎み深く）、信仰、愛、忍耐において健全であること。」よし、問題ない！ いいえ、大問題です。これは、無理難題じゃありませんか？ 最初の1つから始めてもいいですか？ 「自分を制す」こんな描写の仕方をお許しいただきたいのですが、以下のような内容だと思えます。“熟年の男は、年相応の行動をすべし。どういう意味でしょう？ 男性方、私たちが年を取るとどうなるか知ってますか？ 世間ではそれを”中年の危機”と呼びます。バックミラーを見る（振り返る）年月の方が、フロントガラス越しに（この先）を見る時間よりも長いことに気づくのです。ちなみにバックミラーを見ると、自分の年老いて禿げ上がった頭頂部にはあまり髪がありません。つまり、年をとったということです。昔のようなカッコよさはなくなっている。では、熟年の男性はどうするのでしょうか？ もちろん、私たちの誰かのことを言っているのではありませんよ。他の年配の男性のことを言っているのですよ。ですから、これは理論上のことですね。で、年配の男性は何をするのでしょうか？ 彼は、若く、かっこよく見せようとするんです。聞かれて答えなければならない問題があると思います。あなたは、若者に尊敬されています。なのに彼らのようになろうとするのですか？ 今までに彼らが、あなたを手本にしたいと願っていることを知らなかったのですか？ あなたはここにいて... 因みに事實は、どんなに努力しても、年をとってからはカッコよくなれないのです。スキニージーンズを無理に履いてみたり、新車を買って行ってみたり、何でもやってみたりする。しかし若くはなれません。諦めるしかないのです。私の妻に言わせると、橋を架けて乗り越えろ＝認めて受け入れろ。ということです。－(笑)－ 2つ目の”品位を

保ち（尊敬に値し）”とダブりますね。”自分を制し”年長者としての深みがあります。あなたは信仰と愛において健全で確固たるものがあります。愛については、後ほど語りたいたと思いますが、そして、忍耐。これらに共通しているのは、年配の男性が、自分の人生を見ている人たちの模範になる必要があることを語っているのです。これについては、最後に詳しく説明します。一つの言葉：“愛”について少し考えてみましょう。繰り返しになりますが、私たちは読み飛ばしてしまいます。「信仰、愛、忍耐、よし次の節だ。」待ってください。「愛」。興味深いと思うのですが、年を重ねるごとに、今回も、年配の男性に向けての話です。女性の皆さん、皆さんは次です…。－(笑)－しかし、私たちは年を取るにつれて、意地悪になる傾向がありますよね？年をとるごとに、愛情深くなるのではなく、気難しく短気で、せっかちになってしまいます。間違いなく人々はあるあなたを見ているのです。好むと好まざるとにかかわらず、長い期間、主と共に歩んできた私たちは、私たちが尊敬したいと思っている若い人たちに見られているのです。彼らは本当に願っています。特に私たちが生きているこの時代は、このような飢え、渇き、空虚感のようなものがあり、敬虔な模範となるような、敬虔な男性を求めています。ああ、彼らにはそのように映るのです。そのように見るのです。「この人を見ていると、妻や子ども、家族への接し方が見えます。それが見える事です。」それが、夫が妻を愛する姿です。それが、神の人が自分の子どもに接する姿です。「ああ、だから子どもたちは彼を尊敬するんですね。」私は今とても諭されました。女性の方に移りますね。－(笑)－3節でパウロは、年配の男性から年配の女性に移り、自分の生き方に敬意を払わなければならないと言っています。“彼女らがしてはならないこと”を語るところが面白いのです。注目して下さい。それが、彼の言う「やるべきこと」の鍵なのです。何を”すべき”かを知るための最良の方法は、先ずは、何を”すべきでない”かを知ることです。では、その”してはならないこと”とは何でしょうか？ああ、女性の皆さん、このリストはどうですか？すみません、あまり楽しみたくないのですが、ちょっとだけ…”誹謗中傷をすること”。はい、お話ししましょうか。文字通りではなく、実際に、人の中傷や噂話は止めましょう。あるいは、“大酒のとりこにならず”これは年配の女性たちのことです。繰り返しになりますが、それは、あなたと聖霊の間に委ねますが、興味深いことに、子どもたちがすっかり成長し、あなたは彼らを育てあげ、あなたは良い母親、良い妻でした。「さあ、私の時間よ！ワインボトルはどこ？」「さあ姉妹に電話してみよっと。～～ねえ、あのこと聞いた？」「今まで苦労してきた分、悠々自適に過ごせるのでは？」いいえ違います。パウロが、こう言うのが非常に興味深いと思います。「あなたが時間を持て余しているからといって、そんなことをするのではなく、主のことに忙しくしなければならない一何でも首を突っ込むのではなく。」だから、何が良いことなのかを教える必要があります。じゃあ、どうやってでしょうか？答えは、ある意味基本です。「そもそも、敬虔な年配の女性が世俗的な生活をしていない」それは、御霊に導かれて歩み、肉の欲を満たさないことと一致しています。私が若い信者だったとき、いつもそれで苦労していました。私は、歩むことの意味が分かりませんでした。クリスチャンの生活では、それはどのようなものなのでしょうか。「仰る意味は、御霊に導かれて歩むなら、肉の欲を満たさない、ということなのですか？どうしてそうなるのか、ぜひ知りたいからです。」

「これは、私のクリスチャンとしての人生を変える出来事のように聞こえます。」－その通りです。では、どのようにして御霊の中を歩むのですか？御霊の中で忙しくするのは、肉のための時間がなくなります。毎週ソーシャルメディアの話をしているような気がしますが、今日も話題にします。お付き合いください。ソーシャルメディアを見ていると、投稿する人たちがどれだけ長い時間かけているかに驚きます。いくつかの投稿を見てみると、ただの投稿ではありません。まるで巻物で、ずらっとスクロー

ルが続きます。またマウスでも、どんどん続いています。そして、その返事。「おおっと。返事が来ている！」「通知が来た～返信、返信しないと！」長くなればなるほど、悪くなることに気づいたことはありませんか？ このような「箴言」があります。

「ことば数が多いところには、背きがつきもの。」一箴言 10:19ー

それに、どうしてそんなに時間があるんですか？ そんなに暇なのですか？ 前に「暇人の手許は悪魔の仕事場」というのを見ました。次の段階に進む前に、少しだけそのことを説明しておきます。

信仰生活の中で、暇人の手許は悪魔に抵抗できないと思います。使徒ペテロが、「第一ペテロの手紙 5章 8節」でこう語っています。

「身を慎み、目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、吼えたける獅子のように、だれかを食い尽くそうと探し回っています。」(第一ペテロ 5:8)

敵は観察し、軍事戦略家のように戦略的に研究しています。昔の戦争写真を見ると、テーブルの上で地図を見ながら戦略を練っている人たちがいますよね？ それが、敵があなたの人生の地図を使ってすることだと考えたことはありませんか？ 彼は、あなたの人生を研究しているのです。ある意味では、あなたが自分自身を知るよりも、彼の方があなたを知っていると言えるかもしれません。彼は、あなたの脆弱なところ、弱点を知っていて、おまけに、彼はとても忍耐強いんです。彼は待っていて「オー、見てみろ。くつろいで、時間を持て余しているぞ。」「行ってこい！仕事だ。今だ！彼らは暇なんだよ。」そして、そのことが起こるのです。神のことで忙しくしていると、時間がないということがあります。ただ時間がないんです。これに時間が必要ですから。ところで、これはお決まりですよ？ 時間的にも余裕があると、あなたは、彼がここではいけないと言っていることをやってしまいます。そのための時間があるので。では、若い女性の方、いいですか？ 4節と5節で、パウロは続けてこう言っています。今まだ、年配の女性に関してです。若い女性の皆さん。若い女性に、夫や子どもを愛するように励ましたり/教えたり、できるようにするのです。若い女性の皆さん、パウロは、彼らを愛する方法として、慎み深く、貞潔であることを明記さえています。興味深いですね。家で家事に励み、善良で、夫に従順であることです。若い女性の皆さん、ちょっと待ってください！ 年上の女性に模範になってもらう責任があります。「うわ、牧師さん。年配の女性にをけしかけるんですか？」ええたぶん。いえいえ私はなく、神の御言葉の中で、聖霊によって使徒パウロが語っているのです。ある意味で若い女性が、敬虔な女性とは何か、どのようにクリスチャン生活を送るのかの敬虔な模範を必要としているのではないのでしょうか？ それについて考えてみてください。典型的な筋書きですが、夫は仕事に出かけ、妻に子どもを任せます。彼女は、一日中子どもたちと一緒にいるんですよね？ だからこそ、ご主人が帰宅したら、手元の子どもを「ハイ、あなた！さあ！あなたの番よ。」と渡すのです。若い女性の方には、お手本となるような年上の女性がいてくれると助かるのかもしれないですね。私たちの子どもは、私の両親が亡くなった後に生まれたので、何度も。まず、孫の顔を見せてあげたかったですね。私の母は、ただ大げさだったと思います。でも、両親に聞けたらいいのにと何度も思いました。もっと前に聞いておけばよかったと思う質問がたくさんあったのですが、その時は考えもしませんでした。特に母に言われたのは「自分の子どもが出来れば分かるわ！」「はいはい。何とでも。」そして、自分の子どもを持ちました。ちなみにそれは、親が子どもに言う通過儀礼のようなものです。しかし両親と話して「私はこんなだった？」と聞くことができたなら、とても良かったでしょう。母なら、こう言ったでしょうね。「いいえ、そんなではなかった。あなたは、これよりずっと悪かったわ！」この質問をさせてください。もし若い女性が、一この後直ぐ、

若い男の話をしてますが、もし若い人たちに、私たちがいなければ、誰を頼るのでしょうか？ 彼らは、どこへ行くのでしょうか？ 間違いなく敵はすぐそこにおいて、私たちが神の模範となり、健全な教義にふさわしい生き方をしていないことで生じる空白を埋めようとしているのです。もう一つですが、パウロはさらに踏み込んで「その理由」を説明していて、私にとって非常に興味深いのは、「神のことが悪く言われることのないようにしなさい。」と言っている事です。なぜ聖霊は、使徒パウロにこのような特定のことを最後尾に書かせたのでしょうか。その理由について、私はこう考え提案します。私は、このようなことが起こっていたのではないかと考えています。理由は、パウロがテトスに、「クレタ人について」言ったことの中にあります。先週を覚えていますか？ 恐ろしいほどの評判でした。彼らは下品な人間でした。彼らは怠け者で、彼らは大食漢でした。彼らは嘘つきで、野蛮で、彼らは大酒飲みでした。リストはまだまだ続きます。実際誰かに「あ～あなたは、クレタ人だ。」と言うと、「!!!何ですって!!!」つまり、これが当時の霊的な温度だったと知ることが必要です。「ああ、いいでしょう牧師さん。それは昔のことで、今は違いますよ。」なるほど、何も変わっていません。今のイエス・キリストの教会は、もっとひどいと言ってもいいくらいです。私たちが生きているこの世界では、今まで以上に、このことが重要だと思います。私たちがしていることは、キリスト教を、神の教会を、神の御言葉をあざけり、悪口を言う事で、敵に白紙小切手に自由に金額を書かせているのです。こんな言い方をしてもいいですか？ 私たちはこの点で、敵に全面的に協力してしまっています。まるで彼らに雇われているかのように、彼らのために仕事をしているかのように。そうすることで、私たちの証人や証に大きなダメージを与えているのです。特に今、世界が私たちを見ていることを理解されていますよね？ 彼らはクリスチャンを見えています。

「ああ、あなたはクリスチャンですか？ 今まで何人かのクリスチャンに会ったことがありますが、あなたたちは、偽善者の集まりだ。」彼らの言う通りです。あなたが「ねえ、教会に来てみませんか？」と言ったとしても、「あの教会は偽善者ばかりだ!!」「いやあ、そうなんですよ。いつでももっと使うことができますから。ここには多くの席があるから、あなたもこれですよ！」私はもう1つユーモア溢れるツッコミを思い出しました。「私は完璧な教会を探しているのです!」「そうなんですか？ それは問題ですよ。あなたがそれを見つけて行けば、完璧ではなくなります。行かないでください。」それが言いたかったのです。-(笑)-

「あなたたちは偽善者の集まりだ!」「はい。」私たちは、赦された偽善者です。教会は聖人のショールームやショーケースではなく、むしろ罪人のための病院と呼ばれています。しかし、世が見ている2つの質問をしています。これについてはよく話しますね。皆さん、それらの質問が何かをご存知ですか？ 彼らは、あなたの人生を問うているのです。「あなたは本物なのか?」「それとも、私が出会った他のクリスチャンたちと同じなのか?」「ああ、あなたは日曜日の朝は、クリスチャンですね。しかし、私はあなたが月曜日・火曜日・水曜日・木曜日・金曜日・土曜日に何をするか見てきました。そして!日曜日の朝、クリスチャン笑顔を作って教会に向かいながら、後部座席の子どもたちに怒鳴って、駐車しようと入ると、誰かがあなたのいつもの駐車場所に留めていて、その時のあなたの反応を見てきました。」皆さんにこの質問をさせてください。それは修辭的です。私は自分自身に問います。誰かに何度と言われたことがあるのではないのでしょうか。「それって、クリスチャンらしくありませんね。」私にはこういう側面があります。ノンクリスチャンに、「それはクリスチャンらしくない」と言われてしまった。ノンクリスチャンである彼らが、クリスチャンのあるべき姿をここまで熟知しているとは知りませんでした。「そういう面も

あるし、もちろんそれは肉の事だから～残念。」—そうは仰らないでください！　しかし、なぜ彼らはあなたにその質問をするのでしょうか？　なぜなら恐らく、あなたがしたことや言ったこと、しなかったこと、言わなかったことがクリスチャンらしくないからです。これが問題です。彼らがあなたにその質問をするということは、彼らがあなたの人生を見ていることを意味します。だからこの質問が出てきたのです。「私は以前からあなたを見てきました。」「私は、あなたの行動や反応を見えています。」そして

「それはクリスチャンがすべきことではないし、クリスチャンが行動したり反応する方法ではないと思います。」そしてここにきて、「あなたたちはみんな同じだ！」という悪口が出てきます。

2つ目の質問ですが、これはある意味、彼らが求めていることより重要な質問です。最初の質問：「あなたは本物なのか？」2つ目の質問：「それは上手くいくのか？」

この2つの質問については、彼らはあなたが本物であることを望んでいて、それが上手くいくことを望んでいるということです。なぜなら、彼らにとっては、本物である必要があり、上手くいく必要があるからです。なぜなら、それが本物ではなく、それが上手くいかないならば、彼らには望みがないからです。希望はありません。それでは、若い男性に移りましょう。6節から9節でパウロは、彼らを励ますようテトスに語っており、ここで再び、思慮深くあるように/自制心を持つように、またそのためには、彼らの模範となるようにと語っています。どのようにしてでしょうか？　そのためにテトスがすべきことは、教えることにおいてです。お聞きください。彼は、非難される余地がないように、誠実に、敬虔に、汚れなく、そして健全なことばを用いる。敵対する者が、一多くの敵対者がいます—最終的に恥じ入るでしょう。彼らは何かを言おうとするからです。「この男は本物です。彼は誠実であり、敬虔であり、汚れのない人です。」繰り返しますが、若い女性、若い男性も同様、あなたがたに責任があるわけではありません。それは私たち、年配者にあるのです。これは、私たちがあなたがたの模範になる必要があるのです。誠実さとはこういうことだと、敬虔さとはこういうことだと、汚れがないとはこういうことだと、教義的に健全で堅固であるとはこういうことだと。不動で、何事にも動じない、何事にも揺るがされないこととはこういうことだと。使徒パウロが、「使徒の働き」の中でこう語ったことを考えます。「何も私を動かさない、何も私を揺さぶれない。」それは、霊的な成熟、誠実さによってもたらされるものです。付け加えるならば、純潔さです。あなたは平然としていますが、若い頃はそうではなかったのではないですか？　あなたはそのように反応しませんね？　つまり、若い時は何事も誇張してしまいますから。その後、年を重ねると、もちろん年齢も関係します。つまり正直に言うと、あなたは若い頃のように十分なエネルギーがありません。あなたが若い頃は「さあ、これをやろうぜ！」年を重ねるごとに「もういいや～」と思うようになります。若い人たちには、模範となるような先輩たちの姿を見る必要があります。「おお、それがそんな時の対処法なんですか？」ああそれはあなたが、最終手段の代わりに最初の応答としてすることですか？　どういう意味でしょうか？　繰り返しになりますが、私は自分の確信と経験から話します。電話で誰かを怒鳴っている所ではなく、祈っているところを子ども達に見られたいと思ったことが何度あったのでしょうか。なぜなら、私が子ども達に何を教えていたか分かりますか？　口が酸っぱくなるまで、彼らに教え、言えます。「私がしている通りではなく、私が言っている通りにしなさい。」

ああ、本当に？　いいえ、あなたがしているようにやります。なぜなら、彼らはあなたを真似るからです。そして、ただ親と子のことだけでなく、娘が幼かったころ、私も若かったのですが、私はテレビに向かって怒鳴っていたのを覚えています。私はもうそれをしません。悔い改めました。今はほとんど、この部分で勝利の中を歩いていてたまに挫折しますが、すぐに戻ってきます。そこで、私はここにいて、娘はまだ

小さな幼児です。私は「なぜだ～、テレビよ～！」と叫んでいます。私の可愛い、幼い娘の方を見ると、彼女もテレビに向かって叫び始めるのです。ダメ～！ 私は何てことをしてしまったのか！？ 私の息子たち、彼らが幼児だったとき、彼らは私の真似をして、私がやっているのを見て、多くのことを真似しました。私がしていることを見つけて、彼らも同じことをやりました。あ”～。私たちが家庭生活、教会生活、職場の中で、若い世代に対して、良い模範である男性、女性となることを神に願います。結局、私たちは、彼らに何も言ってほしくなく、実際には、彼らにこう言ってもらいたいと本当に願っているのです。「私は彼について悪口を言うことはできません。なぜなら、彼には非の打ち所がないからです。」

「彼らには誠実さがあります。」「彼らは本物です。」「ですから、私は彼らについて何が言えるのでしょうか？」

では、9節から10節に移りましょう。パウロが奴隷について語っている箇所です。ここで、皆さんの血圧が上がります。なぜなら…「奴隷だなんて、ああ、ダメ～！」パウロの時代には、ほとんどの人が奴隷で、中には、何らかの職業で訓練を受けた人もいました。実際に医師や会計士のような使用人や奴隷を持つことができました。彼らは専門職の訓練を受けましたが、それでも奴隷とみなされていました。ですから、従業員として雇用主に見られるように、このように理解して、私たちの人生に適用するのが良いからです。その言葉（奴隷）を従業員に置き換えると、すべてが納得でき、ピッタリ合います。その時の言葉がこちらです。クリスチャンの従業員は一生懸命働き、口出しせず、口答えをせず、雇い主のものを盗まない。「ええ、でも彼らには私への義務があります。私はとても過小評価されています。」お～待ってください。主がそれをご存じだと思わないのですか？ 主がそれを正してくださると思わないのですか？ 自分の手で解決しようとしているのですか？ その代わりに、自分が信頼できることを示すことです。その理由は、これが大きな問題です。それは、雇用者が主に惹かれ、引き寄せられるようにするためです。クリスチャンの従業員は、その会社の全従業員の中で最も勤勉な労働者であるべきです。そして、クリスチャンの従業員は、人のためではなく、主のためにする必要があります。これは「コロサイ人への手紙」3章22節から24節です。

コロサイ人への手紙3章

22 奴隷たちよ、すべてのことについて地上の主人に従いなさい。人のご機嫌とりのような、うわべだけの仕方ではなく…これがどういう意味か分かりますよね？ 上司が見ていないときは、（仕事をさぼり）上司が来ると、（働く）…人のご機嫌取りのような、うわべだけの仕方ではなく、主を恐れつつ、真心から従いなさい。」

23 何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から行いなさい。

たとえ上司が見てなくても、主はあなたをご覧になっています。考えてみれば、あなたは彼のために働いているわけではありません。あなたは主にあって彼のために、彼への証人として働いているのです。

…人に対してでなく、主に対してするように、心から行いなさい。そして、これです。

24 あなたがたは、主から報いとして御国を受け継ぐことを知っています。あなたがたは主キリストに仕えているのです。

第一ペテロの手紙2章12節

異邦人（ノンクリスチャン）の中であって立派にふるまいなさい。そうすれば、彼らがあなたがたを悪人呼ばわりしていても、あなたがたの立派な行いを目にして、神の訪れの日に神をあがめるようになります。

それはこんな感じです。ノンクリスチャンの雇用者がいて、クリスチャンの従業員がいます。彼はこの従業員を見て「クリスチャンのことをいろいろと言ってきたが、この男はその半分も悪くないし、実際に良い仕事をしている。」そして、そのために彼らが何をしようとしているか分かりますか？ いいですか、あなたは主の代理人なのです。あなたはクリスチャンだと公言しています。あなたはキリストを表しているのです。ほら、彼らはあなたを見ています。そして、あなたの仕事ぶりというレンズを通して、彼らはそうやって主を見るのです。それについて考えてみてください。それもちょっと気が重いですよね。なぜクリスチャンはいつも最も怠惰な労働者であり、遅刻し、早退し、病欠し、備品を盗むのでしょうか？ どなたかをイラつかせちゃいました？ もしかしたら、イラっとくる必要があるのかもしれませんが。私がミニストリーに入る前に、神は私を牧師に召されました。私はビジネスの世界にいて、自分の事業を持っていました。私は木曜日の夜にこのこととお話したと思います。詳細は省きますが、クリスチャン・ビジネス・ディレクターが大流行していた頃の話です。クリスチャン・コミュニティの中には、クリスチャン事業のリストや本がありました。広告には魚（クリスチャンマーク）が描かれていました。— 私はクリスチャンです。— 実際には、それらのいくつかは全くクリスチャンではありませんでした。実際には、電話帳の広告にその魚を載せるのは、騙されやすいクリスチャンと取引をする目的でした。「ああ、あなたはクリスチャンですか？」そして彼らは、お金を全てを騙し取るのです。これは私の経験ですが、悲しいことに、クリスチャンと取引するよりも、ノンクリスチャンと取引する方が好きでした。悲しいことですが、これが理由です。私が理解できないのは、クリスチャンが自分たちのやり方で行動し、自分たちのやり方でビジネスを行い、自分たちの労働倫理を持つことは許されているんだと考える理由です。「マタイの福音書」5章16節。イエスは仰っています。

マタイの福音書5章16節

「このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせなさい。人々があなたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようになるためです。」

このためにどれだけの人がキリストに魅了されたかご存じですか？ 彼らはあなたの行動を見ています。彼らは、あなたがどのように行動し、あなたがそのような誠実さと正直さを持ってビジネスを行うのか、見ているのです。あなたの言葉はあなたの伝言で、あなたの言葉はあなたの証書です。あなたの「はい」は「はい」、あなたの「いいえ」は「いいえ」です。それは彼らにとって新鮮なのです。彼らはそれに慣れていません。そんな中、あなたが現れて、あなたは実際に誠実なので、彼らが取引をしたいと思う人なのです。お～あなたは言う必要はありませんでした。彼らが最終的に、あなたに聞くからです。

「あなたはクリスチャンですか？」— はい。これが「行動は言葉よりも雄弁」です。こう言う、極端な人もいます。私はただ、自分の行動が自分を物語っているだけです。両方必要です。行動と言葉、言葉と行為、飛行機が飛ぶための両翼のようなものです。アラブ人が飛行機の描写を使うべきではないでしょうが、その通りだと思います。言い換えれば、あなたの歩みはあなたの話し方と一致し、その逆もまた然りです。「コリント人への手紙第二」3章2節から3節で締めくくりたいと思います。理由はすぐに分かると思います。パウロは、コリントの教会へこう書いています。

コリント人への手紙第二3章

2 私たちの推薦状はあなたがたです。それは私たちの心に書き記されていて、すべての人に知られ、また、読まれています。

3 あなたがたが、私たちの奉仕の結果としてのキリストの手紙であることは、明らかです。それは、墨に

よってではなく、生ける神の御霊によって、石の板ではなく人の心の板に書き記されたものです。

分かりましたか？ すべてのクリスチャン一人ひとりが、生ける手紙、生ける書なのです。それがどういう意味か分かりますか？ 人々は私たちのクリスチャン人生という手紙を読んでいます。彼らは何を読んでいますか？ あなたのクリスチャン人生の手紙を読むとき、彼らは何を読んでいるのでしょうか？ それは、神への愛と人への愛を描いたラブストーリーでしょうか？ それは律法全体を要約していませんか？ あなたは心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして神を愛し、そして、あなたが”すでに自分自身を愛しているように”あなたの隣人を愛しなさい。理由があつてこういう言い方をしました。なぜなら、抜け道を探そうとする人がいるからです。「まあ、私は自分自身を愛していないので、人々を愛することはできないわ。」頼みますよ。あなたは物凄くご自分を愛しています！冗談でしょう？ 人々を自分自身のように愛しなさい。心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、神を愛しなさい。彼らはラブレターを読んでいますか？ あるいは、このような終わり方はしたくないのですがしかし、ヘイトレター（憎しみの手紙）を読んでいるのでしょうか？ こんにちの憎しみは異常だと思いませんか？ ただこんにちの社会に浸透している下品で汚い、激しい憎しみ、それはイエスではありません。それはイエスではありません。それが決してクリスチャン人生にあつてはなりません。お立ちください。祈りで締めくくりましょう。その前に賛美チームは上がってきてください。

天の御父よ、もう一度あなたの御言葉に感謝します。非常に探られますが、それは良いことです。難しい教えのようなもので、それはそれで良いものです。これは主よ、あなたの御言葉の中で、聖霊が私たちの心にアクセスし、このことに関して私たちの心を探ってくださいのに適した箇所の一つだからです。

主よ、私たちの人生の手紙であり、手本であり、模範です。主よ、この非常に必要な御言葉に感謝します。あなただけが出来るようになるように、ここからは聖霊が引き継いで下さる必要があります。なぜなら、聖霊が私たちにこの聖なる人生を送ることを可能にしてくださらない限り、希望はないからです。自分でやろうとしても無駄です。それは聖霊の力でなければなりません。だから、主よ、あなたの聖霊で私達を新たに満たして下さるよう祈ります。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7